



# 議 会

# だ よ り



発行／設楽町議会 編集／広報委員会  
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地  
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675  
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp



4月23日(日)「設楽町議会議員一般選挙」  
が行われ、10名が当選しました

## も く じ

- 新議長あいさつ・議会委員会構成 … 2
- 令和4年度 議員視察 …………… 3
- 予算特別委員会報告 …………… 4
- 定例会・委員会報告 …………… 7
- 議員9名の一般質問 …………… 11
- 議会活動報告(1～3月) …………… 16





# 就任の ごあいさつ 議長 加藤弘文

去る5月1日、改選後の初議会において新たな議会構成が  
審議され、設楽町議会議長を拝命いたしました。

この度の町議会議員選挙は、一般選挙としては12年ぶりに  
町民の皆様による直接投票によって行われました。それだけに、  
付託されたその責任の重さをさらに強く実感しております。

しばしば、町行政機関と議会は車の両輪に例えられます。  
町民を乗せた車を、町民の幸せを目指して前に進めて行かな  
ければなりません。そのための相互理解と協力は欠かせない  
と思います。一方で、安易に妥協することなく互いに厳しく  
切磋琢磨することで、よりよい設楽町にしていくことが大切  
だと考えています。何よりも町民の皆様のお声を傾聴する中で、  
そうした議会の役割を果たすべく、微力ではございますが、  
力を尽くしていく覚悟です。

議会に対し、これまでと変わらぬ温かくも厳しいご指導ご  
鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といた  
します。

## 新しい議会構成が決まりました

### 議長

加藤弘文

### 副議長

今泉吉人

### 総務建設委員会

◎定数 9人

委員長 原田直幸  
副委員長 村松純次

村松一徳  
原田純子  
七原 剛  
金田敏行  
山口伸彦  
田中邦利  
今泉吉人

### 文教厚生委員会

◎定数 9人

委員長 七原 剛  
副委員長 原田純子

村松一徳  
村松純次  
原田直幸  
金田敏行  
山口伸彦  
田中邦利  
今泉吉人

### 議会運営委員会

◎定数 6人

委員長 金田敏行  
副委員長 山口伸彦

原田直幸  
七原 剛  
田中邦利  
今泉吉人

# 議会行政視察報告

1月17日から18日の1泊2日で議会行政視察を実施しました。

議員9名が参加し、神奈川県足柄上郡開成町議会と静岡県立農林環境専門職大学(磐田市)を視察しました。

## 1 神奈川県足柄上郡開成町

### ・議会におけるICT化の推進について

- ① 議会広報を「読む」と「見る」との両輪の取り組みの一環として、議会だよりだけではなくWEBサイトを開設した
- ② 導入にあたっては、全議員で前向きに取り組んだ結果として、現在会議は完全ペーパーレス化している
- ③ 導入に対する費用は、約178,000円/月で更新内容を業者委託している
- ④ 1ヶ月550~800件程度のアクセス数がある

### ・人口増加率が神奈川県1位の要因について

- ① 計画的な土地利用により、良好な住環境の整備を行った
- ② 子育て支援施策に重点を置いた
- ③ ブランディングの推進による開成町そのものの認知度や魅力の向上

以上、3つの要因であると考えている



## 2 静岡県立農林環境専門職大学・短期大学部(磐田市)

### ・田口高校の魅力化を推進するための林業アカデミーの可能性について

- ① 専門職大学と農業大学校との相違は、学位が取れることである
- ② 短期大学部から4年制への編入は、現時点では行っていない
- ③ 短期大学部林業コースの生徒の進路は、森林組合や林業法人への就職が主なものになっている
- ④ 学生寮の管理や食堂の運営は民間業者へ委託し、食堂は民間の人も食事ができるようになっている
- ⑤ 学費は県内の者で、4年制463,000円、2年制319,000円で、寮費は224,000円となっている
- ⑥ 1学年時は、全員寮で生活することになっている

# 令和5年度 予算

令和5年度の設楽町一般会計、特別会計当初予算を可決しました。

歳入歳出総額	一般会計	60億5,478万円
	特別会計	9億4,253万円
	公営企業会計	20億4,869万円
	合計	90億4,600万円

## 主な歳出予算の概要

Logoフォーム使用料	1,380千円
バス企画切符作成委託	300千円
やすらぎの里大規模改修工事	200,539千円
带状疱疹予防接種委託	2,580千円
産地生産基盤パワーアップ事業	7,229千円
Jクレジット導入調査業務委託	11,500千円
住宅リフォーム事業補助金	5,000千円
スクールバス購入	14,400千円

## 反対 田中邦利議員

- 第一に、物価高騰で暮らしと経営が大きな打撃をうけている。
- ・しかし、新年度予算は、町民にとって負担が限界にきている国保料を「国保の都道府県化」の名で、段階的に値上げをすすめようとしている。国保料の引き下げを要求する。また、18歳以下の保険料均等割り分を全額減免にするよう求める。
  - ・小中学校の給食費無償化は全国250自治体をこえ、加速度的に拡大している。当初予算では実施の予定がないやに見えるが、踏み出すよう求める。
  - ・住宅リフォームの復活などは評価する。
- 第二に、国の悪政に自治体が従い、国の「出先機関」となることは反対である。マイナンバーによって、個人情報駄々洩れになる危険性がある。新年度予算は、国の指示どおりに普及しようとしている。
- ・近年の町予算は、設楽ダムを前提にしたものになっている上、町民の安全に密接な関係をもつ地質、断層調査に対応がない。
- 第三に、効率化、見直しが必要な事業について述べる。
- ・移住定住事業は目標と実績が乖離しており、このまま続けてよいのか。
  - ・民間保育所が経営危機におちいつているが、保育・職員配置の国基準にとらわれず、独自の手厚い支援策をとるべきである。

## 討論 〔一般会計〕

## 賛成 七原剛議員

- 一般会計当初予算は前年比0.4%増の約60億5000万円。微増の要因は、老人福祉施設やすらぎの里大規模改修、田口小学校給排水施設更新、上下水道施設整備費の増額等、将来のための必要な投資を計上した為である。
- 商工観光関係では、道の駅及びその周辺、きららの森等の整備も進められており、また、WRCをはじめとする各種イベントにより交流人口の増加が期待され、延いては将来の移住定住の促進に繋がることが期待される。
- 農林業関係では各種必要なインフラ整備、支援事業の他、将来へ向けた投資の補助が計上されており、Jクレジット制度導入調査委託といった新たな研究費が計上されている。
- 教育関係では、少子化の加速により令和6年4月に小中学校の統合が予定されているが、ALTの派遣やICT支援等、子供たちの将来への投資はきちんと計上されている。
- その他、福祉、衛生関連を始めとする予算も、国、県との連携のもと必要な措置が計上されている。
- 最後に、肥大化した財政のスリム化に取り組む為には、甘いウソではなく苦い真実に正面から取り組まなければならない。そのことを強く求め賛成の討論とする。

## 予算特別委員会 主な質疑・答弁内容

令和5年3月1日、15日、16日の3日間で委員会を開催し300件を超える質疑答弁がありました。

- Q** 人事評価制度運用支援業務委託、この制度で出てきた人事評価がどの程度、給与、昇進の面に影響を及ぼすのか。
- A** 目標達成度、勤務態度の2種類の評価をし、課長級、補佐級、主査級の中から2割の職員に対して6月のボーナスに加算して支給する、昇給、昇格はその評価内容を参考にしている。
- Q** 新規事業Logoフォーム、これを導入することによって事務の効率化が図られ、住民の利便性向上が図られるとのことだがどのような内容か。
- A** インターネットで申込みをする時に、氏名、住所など指定項目を入力すれば申し込みが完了するシステムである。
- Q** WRCラリージャパン開催に伴う設楽町の魅力発信、インバウンド、観光戦略に結び付ける考えはあるのか。
- A** 昨年の課題を踏まえ、観光や地域経済が回るように産業課や観光協会といった関係機関や住民と話し合いながら進めていきたいと思っている。
- Q** 入学祝い金や結婚祝い金を商品券ではなく現金に出来ないか。
- A** 単にお金を配るのではなく、地域経済が回るようにと思っているので現金化は考えていない。
- Q** 小水力発電事業の経営的な部分などの専門的なノウハウを学んでもらうような予定は無いか。
- A** 現在ダム進行専門官として小水力発電について知識のある職員を採用して、研修などでスキルを学んでもらっている。
- Q** 期日前投票所を移動させる、そういう臨機応変な対応が投票率の回復につながると思うがどうか。
- A** 次の国政選挙から実施するよう考えている。
- Q** 豊鉄バスIC導入補助金とあるが利用者が乗るときにどのようなようになるのか具体的に教えてほしい。
- A** 東三河の豊鉄バス路線の市町と一緒にやっていく、現金だけではなく電子マネーが使えることで利便性が高まる。令和5、6年で導入し、7年から利用できる見込み。
- Q** 会計年度任用職員の任期について、65歳までという制限があったと思うが、定年延長との関連でどのようなになるのか。
- A** 国からは年齢制限は設けないことが望ましいという通知がある。
- Q** 古いパソコン更新などと共にペーパーレス化を図っていくべきと考えるがどうか。
- A** そのような方向で動いていきたいが、いっきにペーパーレス化をすることは難しい。
- Q** 田口高校の魅力化の中で、地域の活性化についていろいろアイデアを頂いたとあるが、内容や町としてどのような実現方策を考えているのか。
- A** 生徒が設楽ダム山村拠点施設について年4回ほど検討している、今後ここで住んでいかれる高校生、若者の意見にも耳を傾け今後対応していく。
- Q** ダム湖周辺整備検討委託について、西山は保安林になっており保安林解除に時間がかかるため活用方法を早急に検討すべきではないか。
- A** 言われるとおりであり、大至急県と交渉していかねばいけないので、早急に図面等を作成する。
- Q** ふるさと納税返礼品で、今年度は以前と違う工夫をしているのか。
- A** 新規の返礼品6点を開発した。その他設楽ダム工事事務所に、普段は入れない工事現場の見学を返礼品として考えられないか検討している。
- Q** Jクレジットについて、町民所有の森林にもプラスになるような方向性を見出すために森林組合と一緒に研究していただく方法はとれないか。
- A** いずれ環境的な話も踏まえると必要になる制度で、森林組合も考える必要が出てくると思われるので呼び掛けていきたい。
- Q** 新規就農者、(トマト農家1名以上確保)とあるが、トマト農家を指定している理由は。
- A** 設楽町で農業を生業とするにはトマト農家が生計を立てやすいという方向性がある。平均3名ほど新規就農者を確保し進めている。軌道に乗るまで3年間、150万円ずつ補助が受けられる。

- Q** ダム湖周辺の道下の残地の部分について、広葉樹帯のような形になれば観光にも生かせるので、森林環境譲与税を活用して樹種転換できないか。
- A** ダム湖周辺整備に関するところで、公園の場所なども樹種転換をしていきたいと考えている。森林環境譲与税の方もそれに充てて整備できればと思っている。
- Q** 道の駅の案内看板が少ないという声が多数あるが、増やしていく考えはないか。
- A** 今回予算には載っていないが、設置できる場所があれば考えていきたい。
- Q** きららの森について、ビジターセンターに案内所や売店のようなものを作ると想像していたが、駐車場やトイレ、遊歩道の整備にとどまったのはなぜか。
- A** 採算性があるのかななどの意見もあり、一度立ち止まって民間の視点も取り入れながら検討しているところである。
- Q** 橋梁やトンネルを統廃合したり、代替施設を造っていくとのことだが、どのような橋梁が対象か。
- A** 将来的に用途の少ない橋、また目的の薄い橋については橋梁形式を辞め、橋の数を減らし維持管理をスリムにしていきたいと考えている。
- Q** 特賃住宅の入居率がどんどん減っている、この問題を解決するには家賃見直しを検討するしかないと思うがどうか。
- A** 建設時に補助金を受けているのでできない。将来的には検討するべき時期が来ると考えている。
- Q** 住宅リフォーム事業が復活し、申し込みが殺到すれば予算は増えていくのか。
- A** 予算の範囲内で実施したいと思っている。上限50件、50万円とあるが、移住定住、中学生以下のお子さんがあるなど一定条件を満たせば50万円だが、通常は上限10万円になっている。
- Q** 夫婦別姓や同性同士の婚姻の届出があった場合どのように対応するのか。
- A** パートナーシップ制度を定めている自治体を参考に検討していきたいと考えている。
- Q** マイナンバーカードの有効期限が来るときには町から連絡があるのか。
- A** 5年後に更新があり、有効期限は10年となっている。そのときに通知等が届く。
- Q** 成年後見支援センター業務委託の業務内容は。
- A** 認知があるなど、何かしらの障害により自分の財産を管理できなくなった方に対して、弁護士や会計士、社会福祉士といった方が補助的に財産管理などを行う。
- Q** 地域活動センターみらい工房で、活動の援助ができなくなった時にはどのように支援をつないでいるのか。
- A** 年齢制限を超えた方や、動けなくなったり介護が必要になった方は介護保険や障害サービスと連携して施設に入っていたり、自宅で過ごせる体制を整えている。
- Q** 設楽町は何名の方が介護調査員を行っているか。
- A** 会計年度任用職員が1名確保できたので、2名体制となる。
- Q** 介護施設の入所待機者の状況はどうか。
- A** 3月当初、愛厚ホームが7人の空き。名倉の家、定数18人空き無し、待ち1人。設楽の家、定数27、空き無しの状況である。
- Q** 带状疱疹予防接種委託について、何年ぐらい有効期限があり、個人負担はどのくらいか。
- A** ワクチンは2種類ある。(水痘ワクチン、8,000円、持続期間5年、予防効果50%、神経痛30%軽減。)(シングリックス、22,000円/回、2回接種必要、持続期間9年以上、予防効果97%、神経痛88%軽減。)1/2の補助となる。
- Q** 健康増進事業で、アピアランスケアとあるが何パーセントの補助があるのか。
- A** がん治療等に伴う外見の変化によるウィッグ等や、乳房の補正用具の購入に2万円を上限に補助をする。
- Q** 田口地区の下水整備が進み鹿島川の水質の状況はどうか。
- A** 令和3年4月から下水道供用開始をしている。水質を見る指標として大腸菌群があるが、令和2年度平均41,000MPN/100ml、令和3年度平均13,000MPN/100ml、令和4年度途中平均441MPN/100mlとかなりの改善がみられる。

## 令和5年度 町長施政方針

1年前の当り前が当り前でなくなる時代の中ですが、「次世代にしっかり繋いで行けるまちづくり」「皆さんと一緒に創る未来へのまちづくり」の着実な実現を進めていきたいと考えている。

具体的に

1. 人への投資の抜本的強化
2. 特定地域づくり事業協同組合の活動を支援します。
3. 新城市、北設3町村及び長野県根羽村で新しいゴミ焼却施設の建設に向けた検討を開始します。
4. 町内道の駅の更なる連携を進め、町の情報発信と集客向上を図ります。
5. 公共下水道事業、農業集落排水事業、上水道事業を本年度から公営企業法を適用し経営の効率化を進めます。
6. 国民健康保険は、愛知県と共同運営のもと事業を進めますが、段階的に保険料率の見直しを行います。

## 令和5年度 教育方針

「教育は人づくり」を基本理念とし、8年度までの教育振興基本計画を進めていきます。

具体的に

1. 小中学校統合に向けて、ストレスなくスムーズに行うことが出来るよう、準備を進めていきます。
2. 地域住民が学校運営に協力する体制を整えるため、コミュニティスクールの推進を図ります。
3. 町内の小中学校との交流事業を展開します。
4. 時代に即した教育活動を展開するため「何が児童生徒にとって真に必要な教育なのか」を前提に見直しを検討する。
5. 学校調理場の集約を含めた再編を、十分協議のうえ事業化を進めます。
6. 奥三河郷土館は、企画展、特別展を開催し、設楽町の情報発信をしてまいります。

### 第1回 全員協議会(2月)

2月15日に全員協議会を開催し、協議事項5件について説明を受け、質疑等を行いました。

- 1 設楽町消防団条例の改正について
- 2 第2次設楽町総合計画(後期計画)の策定について
- 3 設楽ダム湖周辺整備計画について
- 4 やすらぎの里大規模改修工事について
- 5 地方公営企業会計予算の見方について

### 第2回 全員協議会(3月)

3月13日に全員協議会を開催し、協議事項2件について説明を受け、質疑等を行いました。

- 1 新城・北設ごみ焼却施設広域化 基本構想の策定について
- 2 北設情報ネットワークの近況と今後の取り組みについて

### 第1回 定例会 (3月)

3月1日から3月24日までの24日間の会期で開催しました。1日は議案の上程、説明及び各委員会への付託を行い、13日は9名の議員による一般質問を行いました。15日に予算特別委員会(総務建設委員会所管分)及び総務建設委員会、16日に予算特別委員会(文教厚生委員会所管分)及び文教厚生委員会、17日に設楽ダム対策特別委員会を開催しました。最終日の24日は各委員会に付託された議案の審議の結果報告、議決を行い、さらに追加上程された議案の議決を行いました。

件名	結果	備考
発議 <ul style="list-style-type: none"> <li>設楽町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について</li> </ul>	可決	賛成多数 8:2
<ul style="list-style-type: none"> <li>設楽町議会委員会条例の一部を改正する条例について</li> </ul>	可決	全員賛成

件名	結果	備考
予算	可決	賛成多数 9：1
▪ 令和5年度 設楽町一般会計予算		
▪ 令和5年度 設楽町国民健康保険特別会計予算	可決	賛成多数 9：1
▪ 令和5年度 設楽町後期高齢者医療保険特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町町営バス特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町つぐ診療所特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町田口財産区特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町段嶺財産区特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町名倉財産区特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町津具財産区特別会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町簡易水道事業会計予算	可決	全員賛成
▪ 令和5年度 設楽町下水道事業会計予算	可決	全員賛成
請願	継続 審査	全員賛成
▪ 沖・駒地区における風力発電所建設計画の中止を求める請願		
陳情	採択	全員賛成
▪ 社会福祉法人田口宝保育園の運営を町に委ねることについての陳情書		
要望	採択	全員賛成
▪ 段戸山国有林内風力発電所建設計画に関する要望書		
条例改正	可決	全員賛成
▪ 設楽町消防団条例の一部を改正する条例について		
▪ 設楽町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
▪ 設楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	賛成多数 9：1
路線変更	可決	全員賛成
▪ 町道路線の変更について(町道杉平横吹線)		
契約変更	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の変更について (令和4年度 簡易水道配水管更新工事(長江地区))		
▪ 工事請負契約の変更について (令和3年度 特定環境保全公共下水道事業 管渠布設工事(R3-2))	可決	全員賛成
▪ 工事請負契約の変更について (令和3年度 特定環境保全公共下水道事業 マンホールポンプ設備工事)	可決	全員賛成
補正予算	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町一般会計補正予算(第6号)		
▪ 令和4年度 設楽町一般会計補正予算(第7号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町公共下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町公共下水道特別会計補正予算(第4号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町つぐ診療所特別会計補正予算(第4号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度 設楽町津具財産区特別会計補正予算(第3号)	可決	全員賛成
専決処分	了承	
▪ 契約変更(津具地区農業集落排水処理施設の改修に関する業務委託)		
▪ 契約変更 (令和3年度 特定環境保全公共下水道事業 管渠布設工事(R3-1))	了承	



## 主な質疑

### 国民健康保険条例の一部を改正しました

- Q 第5条の「必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、これに3万円を上限として加算する」の「必要があると認めるとき」とはどういう場合か。
- A 出産時に加入する保険の保険料について、3万円を限度に上乗せすることができるというものである。

### 長江地区の配水管更新工事の変更をしました

- Q 更新前の配水管は何年使用したのか。又、更新後の配水管の耐用年数は何年か。
- A 更新前の配水管は33年使用した。新たな管の法定耐用年数は40年である。

### 田口地区の下水道工事の変更をしました

- Q 地権者から土地使用の承諾が得られなかった為、工事の数量を減らしたとのことだが、他の布設工事への影響はあるのか。
- A 予定していた所の排水処理ができないので、引き続き地権者と交渉していく。交渉ができなかった場合は別ルートでの計画を進めていく。
- Q 事業損失防止調査を2件新規計上しているが、事後調査は行わないのか。
- A 工事完了後に対象の家庭より、事後調査は不要との回答を書面で得ている。

## 総務建設委員会

3月15日開催 / 附託事件3件(議案3件)、請願1件、要望1件を審議しました。付託された議案は全て「原案とおり可決すべき」と決しました。請願1件は「趣旨採択すべき」に、要望1件は「採択すべき」と決しました。

### 町道路線の変更について

- Q 議案とは直接関係はないが、先線の鹿島川沿い部分について認定要望があったと理解している。確認のうえ、路線認定してはいかがか。また、農協が分譲した道路も沿線に5件以上
- A あり、基準に合致しているので認定すべきと思うがどうか。
- A 申請が出されているか確認して、提出されていれば検討していきたい。

## 文教厚生委員会

3月16日開催 / 附託事件2件(議案1件陳情1件)を審議しました。付託された議案は全て「原案とおり可決すべき」と決しました。陳情1件は「採択すべき」と決しました。

- Q 出産育児一時金を引き上げるのは大変結構だが、後期高齢者支援金付加限度額を引き上げることと抱き合わせで改正する意味は何か。
- A たまたま同時期の改正になっただけである。
- Q 後期高齢者支援金付加限度額の引き上げ分を出産育児一時金の引き上げに回すという認識で良いか。
- A 後期高齢者支援金付加限度額の引き上げは国民健康保険法施行令の一部改正に伴うものであり、出産育児一時金の引き上げは健康保険法施行令の一部改正によるものである。全く別のものと認識している。
- Q この改正により、出産をした母親は喜ぶが、お年寄りには悲しむことになるが、それでのいのか。
- A 現政府の掲げている、全世代で支えあう社会保障制度の実現ということからきた改正である。理解して欲しい。

### 一般会計の補正予算が計上されました

- Q 特定地域づくり事業協同組合補助金が330万円減額となっているが何故か。
- A 当初予算は国の補助対象の上限800万円で積算をしていたが、改めて事業費の積算をしたところ470万円となった為、330万減額とした。
- Q 組合設立後、事業は順調にすすんでいるか。
- A 事務局員1名、地域おこし協力隊1名の2名で組合の事務を行っている。現在マルチワーカー派遣人材を募集しており、2名ほど候補の人材がいる見込みである。
- Q デジタル基盤改革支援補助金はどのようなことに使っているのか。
- A マイナンバーを用いて役所にネット申請を行うシステムの導入費である。
- Q あいち森と緑づくり事業の委託費が900万円減額されているが理由は何か。
- A 今年については当初予定をしていた面積が減った為である。
- Q 有害鳥獣捕獲奨励金が増額補正されているが、効果は出ているのか。
- A 捕獲計画を作っているが、頭数自体の実態把握他が難しく効果の検証は難しい。
- Q 出産・子育て応援交付金が繰越明許されるが、支払いに遅れは出ないか。
- A この補正予算が通り次第、ただちに支払う予定である。

3月17日開催 / 所掌事務の調査を行いました。  
設楽ダム建設事業と設楽ダム関連事業について国土交通省と愛知県からの説明を受け質疑を行いました。  
主な質疑は以下のとおり。

### 設楽ダム建設事業について

- Q** 新たなビジネス創出とはどんなことを指しているのか。
- A** 古民家利用を若者がされるとか、新たなビジネスやお店を始める、田口でも若い方々が動き出していることを指している。
- Q** ユーチューブチャンネルの発信について一回だけでなくこれからも続くのか。
- A** 今後については検討を加えながら考えていく。
- Q** エンゲージメントツアーを発信して、ダムの工事が終わってもここでやっていけるようにしてほしい。
- A** 今後の取り組みとしても域外の企業に設楽町の良さや魅力を知っていただくよう努力していきたい。
- Q** 設楽町が考えている小水力発電工事に関係する図面は入っているのか。
- A** 現在のダム計画の中では、設楽町が発電をする計画にはなっていない。町の意向を伺い、可能な限り対応していく。
- Q** 今の図面には小水力発電は入っていないが、堤体工事が令和8年から始まるので、それまでに小水力の図面を入れてくれるという理解でよろしいか。
- A** 設楽町の意向を伺うことが先になると考える。
- Q** 町長に伺う。町の意向を伺うことが先という国土交通省の話だが、それについて町の考えは。
- A** (町長) やるということに迷いはないが、方法や形をどのように設置をするかはこれから検討していく。  
(担当課) 小水力発電については、令和6年から令和7年度頃には、ダムの基本計画の変更をしていただかなければならないと考えている。設楽町がどのような形でやっていくかを考え、その結果をダム工事事務所と工事計画等に対応していただきたいと考える。
- Q** 本体工事の受注業者が決まれば、機会を捉えた町の振興として宿泊や食事など、地域活用と地域振興をどのようにお考えか。
- A** 設楽町の振興として宿泊、食事ということで民間の業者が入ってくる中では事あるごとに紹介、PRすることに協力していきたい。
- Q** 作業員の増加に伴い、交通事故や治安の面など問題が出る可能性がある。それへの対応策についての国の考えは。
- A** 警察、町民の皆様と連携して不安を一つでも解消していきたい。
- Q** 設楽ダムは、工事完成後の観光資源として大事な教育資源でもあり、キャリア教育やふるさと学習など学術資源の面としての捉え方もできる。ダム工事現場の見学を子供たちにもしていただいているが、三河のみならず県全体の子供たちも出来るよう望みたい。
- A** 時間をかけて進める大きな事業なので、次の世代へと想いを繋げ、設楽町で起こってきたことを伝えたい。東三河のパワーアップに繋がるインフラ、水で繋がる設楽町ということも、事業者として伝えていきたい。町当局の皆様と意見交換しながら、事業の活かし方、進め方を検討する。
- Q** 工事の工程で大きな人の流れがある時期はいつごろか。
- A** 現在、本体工事の入札公告を行っている。設楽町に本体工事の作業員の皆さんが多く来ることになるのは来年度、再来年度と考える。
- Q** 設楽町内には有効利用地になっていない公有地が無数あるが、設楽ダムで過疎化の町を盛り上げれば、そこに企業誘致の夢が生まれると思うが。
- A** 私どもの地域振興の資料で企業誘致の可能性を記載させていただいた。来年度以降、設楽町とも連携して進めていきたい。
- Q** 転流工の式典で田口高校の生徒が作った祝い船は、今どこに展示してあるのか。設楽町の南の玄関口の道の駅したらに展示したらよいと思うが。
- A** 転流式で使ったときに少し破損したので修理している。設楽ダム広報展示室に展示して多くの方に見ていただこうと考えている。道の駅への展示は町当局の皆さんと調整して、考えていきたい。
- Q** 古民家を活用し、発掘品を展示する考えは。
- A** 貴重な埋蔵物等を生かしつつ、次の世代に繋げていく必要があるので、町当局の皆さんと調整しながらということになる。
- Q** 国交省の方にも県の方にもお力添えいただいて、町内のデジタル環境の充実をお願いしたい。
- A** 今後の課題として、設楽町当局と総務的な観点で考えていく必要がある。
- Q** 高齢者住民の視点から、今日のような動画を地域の希望によって見せていただきたい。
- A** 今すぐには実現できないが、本体工事が進む中で、高齢者の方も見学できるようバリアフリーも考えていきたいと思っている。

## 設楽ダム関連事業について

- 「設楽ダム建設事業の推進に関する事前確約事項について」(令和4.11.14議会全員協議会回答)の追記について

**Q** 水源地域整備計画に基づく整備事業、道路、簡易水道などの「など」の中身は水源地域整備計画に入っていないものはダメなのか。

**A** 水源地域整備事業とは、県事業として土地改良事業、治山事業、治水事業、道路事業、公営住宅の事業です。町の事業として土地改良、道路、簡易水道、下水道、公営住宅、林道、公民館等、スポーツレクリエーション施設、保育所等の事業があり計画に則ったものが対象になる。

**Q** 水源地域振興事業のインフラ整備を行うものの「インフラ」はどのようなもので、どれだけの範囲を示しているのか。

**A** 豊川水源基金のインフラ整備の県事業としては農地環境整備事業、町の事業としては簡易水道、林道、道の駅等の課題となっている。

- 設楽ダム水源地域対策事業積立金の運用について

**Q** 水源基金を検討していただかないと、この8年の延長だけでも、設楽町としては、たいへん財政が苦しくなってくると思う。

**A** 県としてもしっかり受け止め、引き続き道路整備等インフラ整備について着実に進めたい。また基金運用についても、経営コンサルタントの意見をききながら安全に運用していく。今後の課題として十分認識する。

- 設楽ダム関連事業の進捗について

**Q** 旧八橋小学校の付近から、新しい道路へとりあえずタッチして、旧八橋小学校から田口までの区間を早期に開通してほしいがどうか。

**A** その区間に関し、県としては割と早くできると思っている。最終的には暫定的だが、一度、取り付けるような形をとることも視野において、今検討を進めている。

## 一般質問

### 田口宝保育園の運営支援に対する考え方について

**質問** 年間10数名の出生における4保育園の維持をどう考えているのか。

**町民課長** 出生人数や人口規模に対して、4保育園は多いと思っている。近年では保育士の確保にも苦慮している状況であるので、将来的には統合も考えていかななくてはいけない時期に来ていると思っている。

**質問** 田口宝保育園の運営が厳しい状況であるが、私立として80年余運営してきたことを町としてどう捉えているのか。

**町長** 地域児童の育成に尽力いただいたことや多くの園児を輩出されたことに対して深く感謝している。

**質問** 田口宝保育園の運営困難な状況について、町として赤字を補填していく考えはあるのか。

**町長** 急速な少子化ということで、運営が立ちいかなくなってしまったことは大変残念なことではあるが、保育を確保するという観点から

できる限りの支援をしていく。また、5年度の当初予算に計上していないので、精査した上で補正対応していく。

**質問** 最終的には、運営支援に対する補助金ではなく、田口宝保育園を町営としていきたいとの考えだと聞くがどうか。

**町長** 田口宝保育園の公営化を図っていきたいと考えている。また、住民の皆さんの理解を得ることが一番重要だと思っているが、将来的に町内1園という方向も一緒に考えていきたい。



原田 直幸 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 公共跡地の有効利用の目的を問う

**質問** 跡地の売却と町づくりの誘導を図る気構えは。

**総務課長** 地区の皆さんからの意見、要望で有効利用を検討する。

**質問** 跡地の再開発事業者の模索と発掘はないか。

**総務課長** 要望があれば、跡地の再開発事業者の模索や発掘を検討する。

**質問** 災害に強い防災公園を提案したいが、どうか。

**総務課長** 公共跡地の有効利用の一環として検討を進める。

**質問** 4地区に防災公園の選定をすべきだが、町の判断基準は。

**総務課長** 指定避難所がある、まずは、避難所に避難することを優先する。

## やすらぎの里の大規模改修費用を問う

**質問** 何故、2億円の予算計上が必要か、その真意は。

**町民課長** 経年劣化の老朽化で頻繁に設備の修繕が発生し、2人部屋のプライバシー、防犯カメラなど必要最小限のため。

**質問** 工事期間中の入居者の生活環境は。

**町民課長** 工事エリアを決め、空き部屋に一時引っ越しし、生活を維持する。

**質問** 改修が大規模で、新築のグループホームの計画はなかったのか。

**町長** 新築の場合、用地の確保、土地の造成、建築費用など、既存施設の修繕より費用がかかる。

**質問** 津具の旧下津具小学校の跡地に福祉施設の建設は。

**町民課長** 東三河広域連合の介護保険事業計画に基づき計画する。既存施設で需要を満たすか否かで計画に掲載される。津具地区の建設は非常に難しい。

**町長** 多くの皆さんが、入居出来ないことが発生すれば、一日も早く建設する考えであるが、今のところ足りている状況から難しい。



**金田 文子 議員**



QRで動画で見よう!

## 予算編成方針と各種事業構成の食い違いはないか

**質問** 今後収支不足が見込まれるが財政調整基金で調整していくと、R12年度には基金の枯渇の懸念される。間近に迫った危機に対し、予算編成方針の基本的考え方で予算編成できたのか。

**財政課長** 財政のスリム化に努力したが、満足できるレベルにはできなかった。R6年度以降さらに実現へ努力する。

**質問** ダム完成見通しが延びたからまだしばらくは大丈夫と、都合の悪い情報を無視・過小評価する「正常性バイアス」で対応が遅れないか心配する。人口減、歳入減の現状と影響を全職員が認識し、安心・安全な暮らしを保持できるように、重要な到達目標を明確にする行財政改革の特別チームで作業を開始してはどうか。

**町長** 就任以来財政のスリム化を常に意識している。10年後約20億の予算減を見込むが一度に減らすことは困難で、年に1億ずつ減らすよう指示している。すべての事業について必要性を担当課内だけでなく全課でプレゼンし合い、協議の上で削減を図る。削減にあたっては、住民にしっかり説明する。少々時間はかかるが財政のスリム化に取り組んでいく所存。




**今泉 吉人 議員**



① スマホで撮って  
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 漬物製造業の今後

**質問** 「アグリステーションなぐら」に出来る予定の漬物製造所の規模は。

**産業課長** 約26㎡程度の規模と聞く。必要な設備、機材等を一式導入予定。食品衛生法の新基準に合わせ漬物製造業を行っていく。要件を満たせば補助が出るので漬物製造業をされる方は活用されたい。

**質問** 食品衛生法の改正により令和6年6月1日から漬物の製造出荷許可基準のハードルが高くなり、併せて高齢化と生産者不足もある。産業振興や観光産業に照らして、この事態をどの様に克服するのか。

**産業課長** 若者の新規就農者の確保を第一優先と考える。法改正後の動向としては、名倉生産組合、清嶺市場を運営する(株)つぐや、田峯特産物販売組合も、新基準に適合した自社製の漬物を製造すると聞く。

## 地区懇談会後の広報

**質問** 住民の皆様と町の双方向のコミュニケーションを「とましーなちゃん」を媒体として「広報したら」等に掲載したら如何か。

**総務課長** 全町的な話題については、広報誌等でお知らせすることも検討する。

**質問** 関係する各課が連携して同一の議題に当る組織、推進室の今後の動向は？

**教育長** 職員の意識改革と並行して、交流人口増加、経済の活性化、移住定住推進を「推進室」の最初の取り組みとして検討する。



**金田 敏行 議員**



QRで動画で見よう!

## 防犯灯設置要綱の見直しについて

「防犯灯設置要綱」は、平成17年10月に作成され18年経過したが見直しが無い、要綱の第3条に「防犯灯の設置に要する経費は設楽町が負担し、用地および維持管理経費は各行政区が負担する」とある。最近の電気料の高騰は防犯灯を維持する行政区では大きな問題となっている。

**質問** 防犯灯設置要綱の中で新規設置だけでなく維持管理費の軽減を図るため蛍光灯からLED電灯に交換する費用も町で負担するよう要綱の見直しをすべき。

**総務課長** 令和5年度からは、新設だけでなく蛍光灯からLED電灯への更新は町負担で行う。

## 防犯カメラ設置への補助について

犯罪の事前行動や事後の犯人逃走経路などは、道路沿いや住宅地に設置してある防犯カメラに記録され、犯人逮捕の一役を担っていて犯罪の予防に大きな効果がある。町長方針の「安全で快適な暮らしやすいまちづくり」のためにも、防犯カメラの増設は必要と思うが。

**質問** 防犯カメラの設置に補助金を支給して増設を図り「安心・安全で快適な暮らしやすいまちづくり」のためにも進めるべき。

**総務課長** 町に防犯カメラの設置補助は無いが、愛知県では、新年度から防犯カメラ整備についての補助制度が新規にできる。この内容を確認し要綱等の制定も検討を進める。



**原田 純子 議員**



① スマホで撮って  
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 魅力ある町立学校にするために

**質問** 学校統合にあたって制服の見直しが行われる。この際、校則（生徒心得）を改めてチェックし、かつ、児童生徒の声を反映したものに。

**教育課長** 「生徒心得」は生徒自身が考えたもの。児童生徒の声をしっかり聞き検証して、教育の魅力を高めていく。

**質問** 町は、今年度中途から給食費を無料にした。来年度も無償化を続ける考えはないか。

憲法で義務教育は無償とされている。「学校給食法」を盾にとって、給食費無償化ができない理由には使えない。

**教育課長** 全国的な動きとして、無償化に踏み切る自治体はいくつかあり、時代の潮流も踏まえて、段階的な取組も含め検討したい。

物価高騰が給食費に影響する場合は、公費補填の配慮も考えている。



田中 邦利 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 会計年度任用職員の処遇改善を

**質問** 制度導入によって、給料・手当・休暇制度などで常勤職員との処遇の均衡を図るとされてきた。会計年度任用職員の賃金改善、勤勉手当の支給、並びに休暇制度はどうなったか。

**総務課長** 会計年度任用職員はおおむね20名。給与改定が行われた場合、任用職員も同様に改定される。通勤手当、期末手当、時間外手当も支給。勤勉手当は、国の動向を注視。年次有給休暇は付与。



七原 剛 議員



QRで動画で見よう!

## 設楽町業務継続計画（BCP）の策定、見直し状況について

**質問** BCP策定後から現在までに改善、変更等された点はあるか。

**総務課長** BCPと災害時職員初動マニュアルを統合し、被害想定範囲の拡大と、非常配備体制の見直しを行った。訓練も実施しており、レベルアップを図っている。

**質問** BCPを公表している自治体も多数あるが、公表する予定はないのか。

**総務課長** 町民参加の訓練など、徐々に訓練規模を拡大しながら練度を高めていく中で公表にむけ検討していきたい。

## 設楽町とJクレジット制度の関わりに関して

**質問** 新年度予算案の中で、Jクレジットの調査研究のための予算が計上されているが、町民所有の山林も対象なのか。

**産業課長** 今回の調査研究内容は、事例の収集整理、データ整理、売却可能量の試算、民間事業者へのヒアリング、Jクレジットの活用検討である。今後は、森林組合や林業経営体が主体となって、制度を活用してもらえよう努めていく。

**町長** 山林については、不在地主や隣地境界等の問題等解決しなければならない問題があるが、その中でJクレジットに対する可能性が見いだせるのであれば取り組んでいきたい。

## 町道310号 川口本洞線について

**質問** 町道310号線の修復目標はどの程度までなのか。

**建設課長** 本年、町道川口本洞線を利用し木材搬出したいとの相談あり。当課では施業計画と併せて搬出可能となるように川口側から道路補修を行った。林道は全線利用可能で碁盤石線と高原道路方面の開通の予定はない。

**質問** 今後の町道管理の見通しはどうか。

**建設課長** 全町道の維持管理には大変な費用が掛かるので将来的には整理する必要があると考える。

**質問** 財産区からの財政的支援の可能性は如何か。

**建設課長** 該当する地区は財産区域外の施業が多いようなので財政的支援は困難かと思われる。



高森陽一郎議員



① スマホで撮って  
② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 異次元の移住、定住奨励金について

**質問** 異次元の移住、定住奨励金で廃止や変更があれば教えて欲しい。

**企画ダム対策課長** 若者住宅補助は200万円に減、出産奨励金廃止し入学祝い金として小中高生に3万円、田口高校に別途3万円、などの変更あり。祝い金制度を周知させていきたい。

**質問** 出産関連祝い金授受に母子手帳が不可欠だが、出産直後の本人の性別が判定出来る写真やエコー写真の添付を奨励して欲しい。

**保健福祉センター所長** 写真の添付はお伝えしており顔写真等適切な写真をお願いしたい。



加藤弘文議員



QRで動画で見よう!

## 設楽町の異常な投票率低下の原因と対策

**質問** 設楽町は、直近の衆議院選挙では、4.7%、参議院選挙では、4.3%投票率を下げ、連続で県下で最も投票率を下げた。今回の愛知県知事選挙においては、これをさらに下回り、投票率を5.6%も下げる結果となり、県下で最悪の投票率低下の町となった。これまで、再三、投票率低下の問題を指摘してきた。これまでの対応策は有効だったと考えているのか。

**総務課長(選挙管理委員会書記長)** 残念な結果。移動支援など対策したが、効果は無かった。

**質問** 令和3年の投票所再編で、23か所を4か所にした改悪が主たる原因ではないのか。

**総務課長** 断定はできない。高齢化や政治的無関心も原因。今後も投票率アップを検討する。

## 設楽町の移住定住対策について

**質問** 移住定住策など重点施策については、役場の総力をあげて各課横断的に取り組むと聞いたが、その後の進捗はどうなっているのか。

**教育長** まだ実施しておらず、来年度当初、新たな体制ができた時点で動いていく予定。

**質問** 児童数の減少の中、子育て家庭のための新規住宅の建設を望む声があるが。

**企画ダム対策課長** 時の情勢を考慮し、住民の方々と議論しながら進めていきたい。

**質問** 定住促進、地域振興のためにも、「同窓会補助金制度」の導入を検討してはどうか。

**企画ダム対策課長** 閉校する学校もあり、同窓生が集まる場で話をしてはどうか。

# 議会活動報告

## 1月

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| 8日 新城市消防出初式(新城市)<br>はちを祝う会 | 24日 例月出納検査<br>東三河広域連合会福祉委員会(豊橋市)<br>神奈川県足柄上郡町村会来町 |
| 10日 議会活性化委員会               | 26日 北設楽郡正副議長会(東栄町)<br>JA愛知東新春懇談会(新城市)             |
| 17日 議会行政視察 ~18日(神奈川県開成町他)  |   |
| 19日 東三河広域連合会全員協議会(豊橋市)     |   |
| 20日 県町村議会議長会理事会(名古屋市)      |   |

## 2月

- |                                      |                            |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1日 東三河広域連合会議会運営委員会(豊橋市)              | 15日 議会全員協議会                |
| 3日 議会運営委員会                           | 17日 県町村議会議長会理事会(名古屋市)      |
| 7日 議会活性化委員会<br>新城北設楽郡市町村議会正副議長会(新城市) | 18日 奥三河ビジョンフォーラム新春懇談会(新城市) |
| 8日 東三河広域連合議会定例会(豊橋市)                 | 21日 例月出納検査・定期監査            |
| 9日 東三河広域連合議会定例会(豊橋市)                 | 22日 議会運営委員会                |
| 10日 自衛隊豊川駐屯地における勉強会・<br>情報交換会(豊川市)   | 24日 北設楽郡議正副議長会(豊根村)        |
|                                      | 25日 北設広域事務組合情報ネットワーク説明会    |
|                                      | 27日 北設広域事務組合議会 定例会         |

## 3月

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1日 第1回議会定例会(第1日)<br>予算特別委員会 | 17日 設楽ダム対策特別委員会            |
| 2日 町防災会議                    | 20日 町内小学校卒業式<br>議会運営委員会    |
| 8日 議会運営委員会                  | 23日 例月出納検査                 |
| 9日 社会福祉協議会理事会               | 24日 第1回議会定例会(第3日)<br>広報委員会 |
| 13日 第1回議会定例会(第2日)           | 28日 北設広域事務組合議会臨時会          |
| 15日 予算特別委員会・総務建設委員会         | 29日 新城北設楽交通災害共済組合議会(新城市)   |
| 16日 予算特別委員会・文教厚生委員会         |                            |

## 6月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場 議場  
時間：午前9時から

6月5日(月) 開会・一般質問・提案説明

6月7日(水) 総務建設委員会

6月9日(金) 文教厚生委員会

6月20日(火) 委員長報告・討論・採決・閉会

広報委員 委員長：七原剛 委員：原田直幸 村松純次 原田純子